

問題【社会】

次の問題に答えましょう。

- (1) アメリカの五大湖周辺にある、鉄鋼業を中心に栄えた都市は。
- (2) アメリカのサンフランシスコ郊外の、コンピュータやハイテク産業が集中している地区の通称は。
- (3) 1901年に北九州市につくられた製鉄所とは。
- (4) 第二次世界大戦後、東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海などの臨海部にできた工業地域を合わせて何といいますか。
- (5) 燃料や動力の主なエネルギー源がかわり、産業や社会生活に大きな影響を与えたことを何といいますか。

豆知識 雑学コラム

革命の「エネルギー」

今回はエネルギー革命について学びましょう。エネルギー革命とは、石炭から石油にエネルギー源が変わったことが一番分かりやすいでしょう。実は、このことは工業地帯の位置に大きく影響しています。しかも、アメリカでも日本でも同じように変化がありました。

例えば、昔のアメリカでは五大湖周辺の地域で工業が発達しました。ピッツバーグの鉄鋼やデトロイトの自動車が有名ですね。これは、五大湖の西側で鉄鉱石が、東側のアパラチア炭田で石炭がとれたからです。しかし、その後はシリコンバレーなどのサンベルト（北緯37度以南の地域）と呼ばれる地域が発達しました。これは、メキシコ湾に油田があったことも影響しています。

日本でも同じように、エネルギー革命によって工業地帯の位置が変わっています。昔は北九州工業地域が非常に盛んでした。これは九州に筑豊炭田があったからです。その後、1960年ごろから、日本のエネルギー革命は起きました。今の工業は石炭ではなく石油中心ですよね。そのため、石油の輸入に便利な太平洋側におもな工業地帯が集まりました。これを太平洋ベルトと呼んでいます。昔は「北九州工業地域」呼ばれ、4大工業地帯のひとつでしたが、今では「北九州工業地域」と縮小しています。

ちなみに、「デトロイト 廃墟」でネット検索するとびっくりすると思います。デトロイトは1950年代には人口が約185万人でしたが、2017年には約67万人にまで減少しています。盛者必衰とはいいますが、なかなか恐ろしいものですね。

【解答】



- (1) ピッツバーグ
- (2) シリコンバレー
- (3) 八幡製鉄所
- (4) 太平洋ベルト
- (5) エネルギー革命